

身近な地球温暖化対策(ゴーヤのグリーンカーテンから)

東大阪市立玉串小学校 PTA

1, 事業内容

- ゴーヤのグリーンカーテンを育てて、地球温暖化防止対策につながっていることを知る。
 - ・ 苗からつるを巻きながら成長する様子を観察する。
 - ・ 学校敷地内のつる植物も含めて観察する。
 - ・ グリーンカーテンができてから、カーテンの陰と外の温度比べをし、見た目と、体感からもその効果を考える。
- 環境学習「地球 SOS 地球が熱を出している」を4年生・5年生で実施。
 - ・ 緑がもたらす効果から、省エネルギー効果を考える。
 - ・ 資源循環の学習から二酸化炭素排出を減らすために、自分たちができることを考える。

2, 効果

- ゴーヤのグリーンカーテンは、保護者（三家族）が一緒に取り組んでくれた。苗は昨年度採れた種から育て、できるだけ児童や保護者、地域の方々の目につくように、校舎周りの可能な場所で育てた。特に9月の運動会で多くの保護者や地域の方々から「よい取り組みですね」と、評価を得た。
児童は、ゴーヤのグリーンカーテンが、夏の強い日差しをやわらげ、日の当たる廊下や部屋に比べて、涼しいということを体感した。温度の差調べや、蒸散作用を学ぶことで、見た目や体感の涼しさに、科学的な根拠があることを知った。
- 環境学習では、自分の生活を見直し、自分ができること・家族ができることを考え、「できることから始めよう」「やりかけたら続けよう」の取り組みの姿勢ができてきた。

3, 今後の課題や展望

- 平成21年度は、学校内でゴーヤのグリーンカーテンづくりをする予定で苗を育てたので、保護者や地域の方々にお分けできる苗がほとんどなかった。保護者や地域から「やってみたい」の声があがっているので、平成22年度は苗を多く育てて、広く保護者や地域に呼びかけたい。また、つる植物がグリーンカーテンになることも知ったので、ゴーヤに限らず、子どもたちが興味あるつる植物でグリーンカーテンづくりを広げていくことができればと思う。
- 新型インフルエンザの流行で、9月に予定していた環境学習が十分できず、2月の学習になった。地球温暖化防止のために、節電・節水や資源循環も効果があることを学び、5年生は呼びかけの標語を考えた。ゴーヤのグリーンカーテンづくりを呼びかけると同時に、掲示板等に掲示して、児童から家庭に、地域に地球温暖化防止のためにできることを呼びかけていく予定である。

